



広報えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市国分155
☎ (0462) 31・2111



市では、九月七日(日)市文化会館で開催する「第一回市民音楽祭」出演グループを募集中です。この音楽祭は市制十五周年を記念して、市民文化の高揚と音楽活動をしていく団体の輪づくりを目的に行うものです。

将来はオーケストラ結成も!

第一回市民音楽祭出場団体を募集

音楽は社会の潤滑油、とも言われ、毎日の生活に追われる私たちにひとときの安らぎや高揚感を与えてくれます。市内にもこの音楽を愛し、仲間とともに合唱や合奏の練習に励んでいるグループは数多くあります。これらのグループは、毎年十一月に行われる市民音楽祭に出場

したり、独自の演奏会を開くなどの発表活動も続けています。市民音楽祭は、こうした音楽団体・サークルを一堂に会し、市民のみならず海老名を代表する音楽の数をいかに親しんでもらう場として設けられました。

同時にこの音楽祭は、発表の場にも思えない市内の音楽グループを発表する、出場グループが互いに交流を深め、音楽的技術を磨き合いながら海老名の芸術・文化をより高めていくことを目的としています。さらに将来は市民音楽参加グループをもつた市の交響楽団、合唱団づくりも考えていますので、ぜひ、ご応募ください(応募方法は下段参照)。

広がります「音楽の輪」

既に十三グループが「第一回市民音楽祭」出場に応募して、現在、練習に励んでいます。その中から二グループに市民音楽祭に対する抱負を聞きました。

出来たら合同演奏も...

混声合唱団「風雅」

「今以上にコーラスの幅を広げ、さまざまなジャンルに挑戦するため団員数を五、六人に増やすのが将来の夢」と話すのは、混声合唱団「風雅」(ふりがな、団員35人)の久松(くすむ)正勝(まさかつ)団長。風雅



5月24日の春季文化祭にも出場予定の海老名ジュニア・リード・アンサンブル。市民音楽祭では、リスト作曲「ピアノ・コンチェルト第1番」を発表します。

聞く人の立場になつて

海老名ジュニア

「音楽を発表し、人に聞いてもらう」ということは、聞く人の立場になって完成度の高い音楽を目指すので、練習にもいっそこの努力と真剣さが大切です。しかし、発表が成功して努力が報われたとき、子供たちは自分に自信を持つようになります」と話すのは、「海老名ジュニア・リード・アンサンブル」(団員35人)代表の広江(ひろえ)博子(ひろこ)さん。

「残念ながら、市内音楽団体の活動を知っている人はそれほど多くありません。市民音楽祭を通じて音楽活動の楽しさを大抵の人たちに理解していただく、仲間づくりができた」と考えています。また、この機会

に他の団体と合同演奏などを行い、音楽愛好者同志の交流を深めることが楽しみです。

同アンサンブルは、昭和四十年に発足。幼稚園児から大学生までの幅広い年齢層で構成されたオーケストラとして知られています。

合奏という団体行動を通して、子供たちに協調性、責任感、集中心を教え、音楽の楽しさを教えたい。そのためには一流の技術が必要なので、練習は厳しくします。と言う広江さんの夢は

「音楽を生活の一部として大人になった子どもたちと、大規模なストリングスオーケストラを結成すること。市民音楽祭は、楽しい時間が過ぎた」と言ってもうなるような音楽会にしたいですね。

春季文化祭にご来場を

5月24日、25日(演能部門は24日のみ)
午前10時から市文化会館・市立中央公民館で

【展示部門】 短歌、俳句、書道、盆栽、華道、茶道、食生活、美術、万葉集研究など
【演能部門】 謡曲、民謡舞踊、詩吟、日本舞踊、新日本舞踊、三曲、剣詩舞、音楽など
問い合わせは、小島重治(☎31・3360)まで。



去年の文化祭から

市民音楽祭

出演グループを募集

対象は市内在住、在勤者を中心にコーラス、器楽演奏などの音楽活動をしている団体・グループ(小・中・高校に所属しているグループは除く)。申し込み・問い合わせは、5月31日までに文化財係(内252)へ。



フォトピックス

作品46点を展示

お年寄りの日本画展
私たちの労作を見てくださ
と、四月二十二日から六日間、



味わい深い作品群に「すてきな」の音が

ニチイ海老名店文化ホールで、趣味の教室日本画OB会(会員二十五人)の作品展が開かれた。日本画OB会は、福祉事業の一環として市が毎年行っている「高齢者趣味の教室」の日本画の部受講者が、昭和五十九年に結成したもので、以後、中新田の横堀泉雨さん(日本画家、50歳)を講師に迎え、毎月二回制作活動を続けている。

12チームが参加

三世代交流ゲートボール
市レクリエーション協会主催の「第一回三世代交流ゲートボ



12チームが好試合を

景などを深みのある色彩で描いた作品四十六点が展示され、来場者からは「私も描いてみたい」との声も。会員の一人は、「会苑足後、初めての展示会なので、学生が受診するよう気持で制作し参加しました。評判は上々なので来年も試験を受けてみたい」と感想を話していた。

カーブミラー清掃

ライオンズ、スカウトらが

四月二十七日、海老名のライオンズクラブとボーイスカウト、青年会議所が共同して、カーブミラーの清掃を行った。この清掃は今年で二回目。ライオンズク



交通事故防止に僕たちも協力

ラブ十五人、ボーイスカウト十六人、青年会議所十五人の約百人と左藤市長も加わって市内の約五百個のカーブミラーを午前中かけて清掃した。当日は午前九時に市役所に集合し、十一班に分かれライオンズが用意したトラックに分乗して現地へ。去年も参加したというボーイスカウトは「きれいになってうれしい。これで交通事故も減れば」と話していた。

体育施設利用の抽選会

8-9月分

場所は中央公民館で、午後六時受付、六時半抽選(六時半以降の入場、抽選など認めない)。

- ①上郷スポーツ広場、小田急グラウンド
- ②下今泉テニスコート
- ③運動公園テニスコート、昼間
- ④6月11日(土)、祝日分
- ⑤同夜間分
- ⑥6月16日(全日分)
- ⑦運動公園野球場
- ⑧6月25日(全日分)
- ⑨学校体育施設・体育館
- ⑩6月20日(全日分)
- ⑪学
- ⑫6月20日(全日分)

河川敷清掃に参加

県と海老名市、市美化運動推進協議会による、相模川河川敷清掃が次の要領で行われます。市民の皆さん一人でも多くの参加をお願いします。
【日時】5月25日(日) 午前八時から(小雨決行、雨天の場合は6月1日)
【場所】中野多目的広場、県道横浜伊勢原線戸沢橋下付近
【対象地区】中野、門沢橋
【集合】中野、門沢橋境の相模川河川敷。

みなさんの声

投稿は 秘書広報課へ



気遣いを忘れずに

「畳へ座ることが困難な人もいますので、車いすごとと会場の和室に入れる方を…」これは、四月二日、市立総合福祉会館で開かれた伸生会(市内の体の不自由な人たちの団体)総会の席上で聞かれた意見です。

同総会には約百人が参加し、うち十一人が車いすのひとりに車いす利用者といっても症状や動作が個人差があり、使い慣れた車い

すでなければ長時間座ってられない人や、内部障害のため車いすからの乗り移りに制限がある人がいます。こうした人たちにどうして、車いすは生活に欠かせない体の一部なのです。

仲間同士の交流の場である総会には、行政側やボランティアグループの手厚い援助が行き届いています。が、車いすから降りしてもしなければならない会場に入れないのは遠のいてしまっています。よりよいその理解と気遣いをお願いします。

大谷 小川 一雄

昔話 昔 昔話

いつの頃のことか時代ははっきりしないが、中新田の山王原に、大いふ働きの奉行息子がいた。この息子は年頃なのに嫁さんがなかった。当人は一向そんなことは気にせず、親子水入らずの生活の方が気が楽だと言っていたが、母親は早く嫁を持たせてあげたいと常日頃から近所や親戚などにも頼んでいた。

この息子は魚が好きで、母親に好きな川魚を食べさせようと夕方になると相模川へ鮎魚に出掛け、川辺青魚の習性や集まる場所をよく知っており、投網も主なので、いつも近所の人々が驚く程沢山とて捕るのだが、魚獲いっぱい、丁度その日も魚獲いっぱい、豊漁だったので、明るいうちに切り上げて手持ちの小舟を抗って、たき、だぶの土手の上をのり、土手跡の竹藪から忍びやかな鳴き声がする。行って見ると小狐が腹に掛けて足をはさま



海老名むかしむかし 狐のおしかけ女房

第137話 狐十五話 その八

れ苦しみもがいていた。かわいそうなので外してやろうと竹藪へ入って行くと、連悪の尻を仕掛けた人がやつてきた。近づいて見たらそれは住家の人で、隣村とは言え道一筋で村が分かれているだけのことだから気安く、魚獲いっぱい、狐と狐との交換を頼んでみた。社

く、「二晩泊めてくれ」という。母親に相談すると、わけがあるのだから入れてあげなさい」というので、その晩泊めて。一やけんい動きまわりますのでせひおいてください」と涙を流して頼むのだ。母親はすっかり狐に入って、この娘を息子の嫁にしよと心に決めた。

家の人達は喜んで狐のいっばいはいった魚籠を重そうに持つて帰って行った。息子は狐を腹から外し、はさまれてけがをいっている足を手拭いを巻いて結わえてやった。その晩夜が更けてから誰か入口の戸をどんと叩くので、くぐり戸を開けて見たらきれいな娘が立っている。何か用かと聞



にしようとするに決めた。それからの娘は息子と一緒に働くが、息子は一向娘には関心のないそぶりだった。ある日「あんなにきれいで立派な娘がなぜ私に入らないのか」となると、「奥で一緒に寝ていられますか」という。息子は夜、床にはいっても、そば

にいる娘の体臭で寝つかず、いつも逃げ出すのであった。不審に思った母親がある晩そと様子を見た、寝ている娘のふたが、お尻を入らないうちで止むを得ません。扉間は気をつけているのですが、狐の糞というものでしようか、夜になっても体臭をおぼえることができないのです。悲しいけれどお別れします」といって出て行った。

海老名むかしむかし
☎33・3838
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
5月5日～5月18日 第22話 別れ坂
5月19日～6月1日 第23話 赤池と片葉華